

7 事後調査の結果

7.1 大気汚染

(1) 調査事項

調査事項は、表 7.1-1 に示すとおりである。

表 7.1-1 調査事項

ア 予測した事項	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、ダイオキシン類、 塩化水素、水銀 ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 浮遊粒子状物質、二酸化窒素
イ 予測条件の状況	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 風向、風速、気温、湿度 b 排出物質濃度 いおう酸化物、ばいじん、窒素酸化物、ダイオキシン類、塩 化水素、水銀 c 施設の稼働状況 稼働時間、ごみ焼却量、煙突排出ガス量等 d 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 風向、風速、気温、湿度 b 清掃車両の台数及び断面交通量 時間帯別、車種別、方向別 c 一般環境大気質（バックグラウンド濃度）
ウ 環境保全のための 措置の実施状況	評価書に示す対策を講じているかを調査した。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地内及びその周辺地域とした。

(3) 調査方法

調査方法は、表 7.1-2(1)～(3)に示すとおりである。

清掃工場の煙突排出ガスによる大気質の状況、清掃車両排出ガスによる大気質の状況、気象の状況、排出物質濃度等、清掃車両の台数及び断面交通量については現地調査を行った。

また、同期間中の一般環境大気測定局の観測データの収集、整理を行った。

表 7.1-2(1) 調査方法

調査時点 及び 調査期間	ア 予測した事項	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 a 二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素 施設の稼働が通常の状態に達した時点の以下に示す 2 季各 7 日間とした。 秋季：平成 29 年 11 月 6 日（月）～12 日（日） 春季：平成 30 年 5 月 28 日（月）～6 月 3 日（日） b ダイオキシン類、塩化水素、水銀 施設の稼働が通常の状態に達した時点の以下に示す 4 季各 7 日間とした。 秋季：平成 29 年 11 月 6 日（月）～ 12 日（日） 冬季：平成 30 年 1 月 29 日（月）～2 月 4 日（日） 春季：平成 30 年 5 月 28 日（月）～6 月 3 日（日） 夏季：平成 30 年 8 月 1 日（水）～8 月 7 日（火） ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 施設の稼働が通常の状態に達した時点の以下に示す 1 季 7 日間とした。 秋季：平成 29 年 11 月 6 日（月）～12 日（日）
--------------------	----------	---

表 7.1-2(2) 調査方法

調査時点 及び 調査期間	イ 予測条件の状況	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 『ア 予測した事項』と同一とした。 b 排出物質濃度 施設の稼働が通常の状態に達した時点の以下に示す期間とした。 ダイオキシン類 秋季：平成 29 年 11 月 8 日（水） 冬季：平成 30 年 1 月 30 日（火） ダイオキシン類以外 冬季：平成 30 年 1 月 29 日（月）～2 月 4 日（日） c 施設の稼働状況 『ア 予測した事項』と同一期間内の代表的な 1 季 7 日間とし、以下に示す期間とした。 冬季：平成 30 年 1 月 29 日（月）～2 月 4 日（日） d 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） ダイオキシン類 東京都環境局が公表している環境大気中のダイオキシン類調査結果のうち、『ア 予測した事項』と同時期の以下に示す期間とした。 秋季：平成 29 年 11 月 15 日（水）～22 日（水） 冬季：平成 30 年 2 月 8 日（木）～15 日（木） 春季：平成 30 年 5 月 16 日（水）～23 日（水） 夏季：平成 30 年 8 月 22 日（水）～29 日（水） ダイオキシン類以外 『ア 予測した事項』と同一とした。 ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 『ア 予測した事項』と同一とした。 b 清掃車両の台数及び断面交通量 『ア 予測した事項』と同一期間内の代表的な 1 日（24 時間）とし、以下に示す期間とした。 秋季：平成 29 年 11 月 7 日（火）午前 7 時 ～翌 8 日（水）午前 7 時 c 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） 『ア 予測した事項』と同一とした。
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	施設の稼働が通常の状態に達した時点の随時とした。

表 7.1-2(3) 調査方法

調査地点	ア 予測した事項	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 表 7.1-3 及び図 7.1-1 に示す6地点とした。 ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 表 7.1-4 及び図 7.1-2 に示す6地点とした。
	イ 予測条件の状況	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 計画地内の1地点とした。 b 排出物質濃度 煙突排出ガス測定口とした。 c 施設の稼働状況 計画地内とした。 d 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） 表 7.1-5 及び図 7.1-4 に示す、計画地周辺の一般環境大気測定局とした。 ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 計画地内の1地点とした。 b 清掃車両の台数及び断面交通量 図 7.1-3 に示す6地点とした。 c 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） 表 7.1-5 及び図 7.1-4 に示す、計画地周辺の一般環境大気測定局とした。
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	計画地内とした。
調査方法	ア 予測した事項	大気質の測定方法は、表 7.1-6 に示す測定方法とした。
	イ 予測条件の状況	① 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 「地上気象観測指針」（気象庁）等に定める方法とした。 b 排出物質濃度 煙突排出ガスの測定方法は、表 7.1-7 に示す測定方法とした。 c 施設の稼働状況 現地調査及び関連資料の整理による方法とした。 d 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） 既存資料の整理による方法とした。 ② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況 a 気象の状況 「地上気象観測指針」（気象庁）に定める方法とした。 b 清掃車両の台数及び断面交通量 目視による計数の連続調査及び関連資料の整理による方法とした。 c 一般環境大気質（バックグラウンド濃度） 既存資料の整理による方法とした。
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	現地調査及び関連資料の整理による方法とした。

表 7.1-3 清掃工場の煙突排出ガス調査地点

No.	調査地点	所在地	備考
A	杉並清掃工場	杉並区高井戸東 3-7-6	気象調査
B	神明中学校	杉並区南荻窪 2-37-28	
C	富士見ヶ丘中学校	杉並区久我山 2-20-1	
D	浜田山小学校	杉並区浜田山 4-23-1	
E	高井戸第三小学校	杉並区下高井戸 4-16-24	
F	上北沢小学校	世田谷区上北沢 4-22-29	

表 7.1-4 清掃車両排出ガス調査地点

No.	調査地点	所在地	備考
1	桃井第二小学校	杉並区荻窪 5-10-25	気象調査
2	高井戸警察署	杉並区宮前 1-16-1	
3	高井戸西公園	杉並区高井戸西 3-6-18	
4	高井戸小学校	杉並区高井戸西 2-2-1	
5	ヤマト運輸 高井戸 宅急便センター	杉並区高井戸東 3-32-19	
6	杉並障害者福祉会館	杉並区高井戸東 4-10-26	

表 7.1-5 既存資料調査地点（一般環境大気質測定局）

No.	調査地点	所在地	備考
①	世田谷区世田谷測定局	世田谷区世田谷 4-21-27	東京都
②	世田谷区成城測定局	世田谷区成城 9-25-1	東京都
③	中野区若宮測定局	中野区若宮 3-46-8	東京都
④	杉並区久我山測定局	杉並区久我山 5-36-17	東京都
⑤	区役所前測定室	杉並区阿佐谷南 1-15-1	杉並区
⑥	富士見丘測定室	杉並区上高井戸 2-16-13	杉並区
⑦	高円寺測定室	杉並区高円寺南 2-36-31	杉並区
⑧	久我山測定室 ^{注1)}	杉並区久我山 1-4	杉並区
⑨	烏山測定室	世田谷区南烏山 6-22-14	世田谷区
⑩	砧測定室	世田谷区成城 6-3-10	世田谷区
⑪	区庁舎測定室 ^{注2)}	中野区中野 4-8-1	中野区
⑫	環七野方測定室 ^{注2)}	中野区野方 5-3-1	中野区

注1) 久我山測定室（杉並区久我山 1-4）は平成 29 年 4 月に久我山苗圃測定室（杉並区久我山 2-7）から名称及び所在地が変更されている。

注2) 評価書における既存資料調査地点のうち、⑪区庁舎測定室及び⑫環七野方測定室は測定を終了している。

表 7.1-6 大気質の測定方法

測 定 項 目	測 定 方 法
二酸化いおう	紫外線蛍光法 ^{注)} (JIS-B-7952)
浮遊粒子状物質	β 線吸収法 (JIS-B-7954)
二酸化窒素	オゾンを用いる化学発光法 ^{注)} (JIS-B-7953)
ダイオキシン類	高分解能ガスクロマトグラフ質量分析法
塩化水素	イオンクロマトグラフ導電率法
水銀	加熱気化冷原子吸光法

注) 事後調査計画書に記載した測定方法とは異なるが、同一の JIS 番号で規定された現在の一般的な測定方法である。

表 7.1-7 煙突排出ガス中の汚染物質濃度の測定方法

測 定 項 目	測 定 方 法
いおう酸化物	イオンクロマトグラフ法 ^{注)} (JIS-K-0103)
ばいじん	円筒ろ紙法 (JIS-Z-8808)
窒素酸化物	イオンクロマトグラフ法 ^{注)} (JIS-K-0104)
ダイオキシン類	高分解能ガスクロマトグラフ質量分析法 (JIS-K-0311)
塩化水素	イオンクロマトグラフ法 ^{注)} (JIS-K-0107)
水銀	還元気化原子吸光分析法 (JIS-K-0222)

注) 事後調査計画書に記載した測定方法とは異なるが、同一の JIS 番号で規定された現在の一般的な測定方法である。

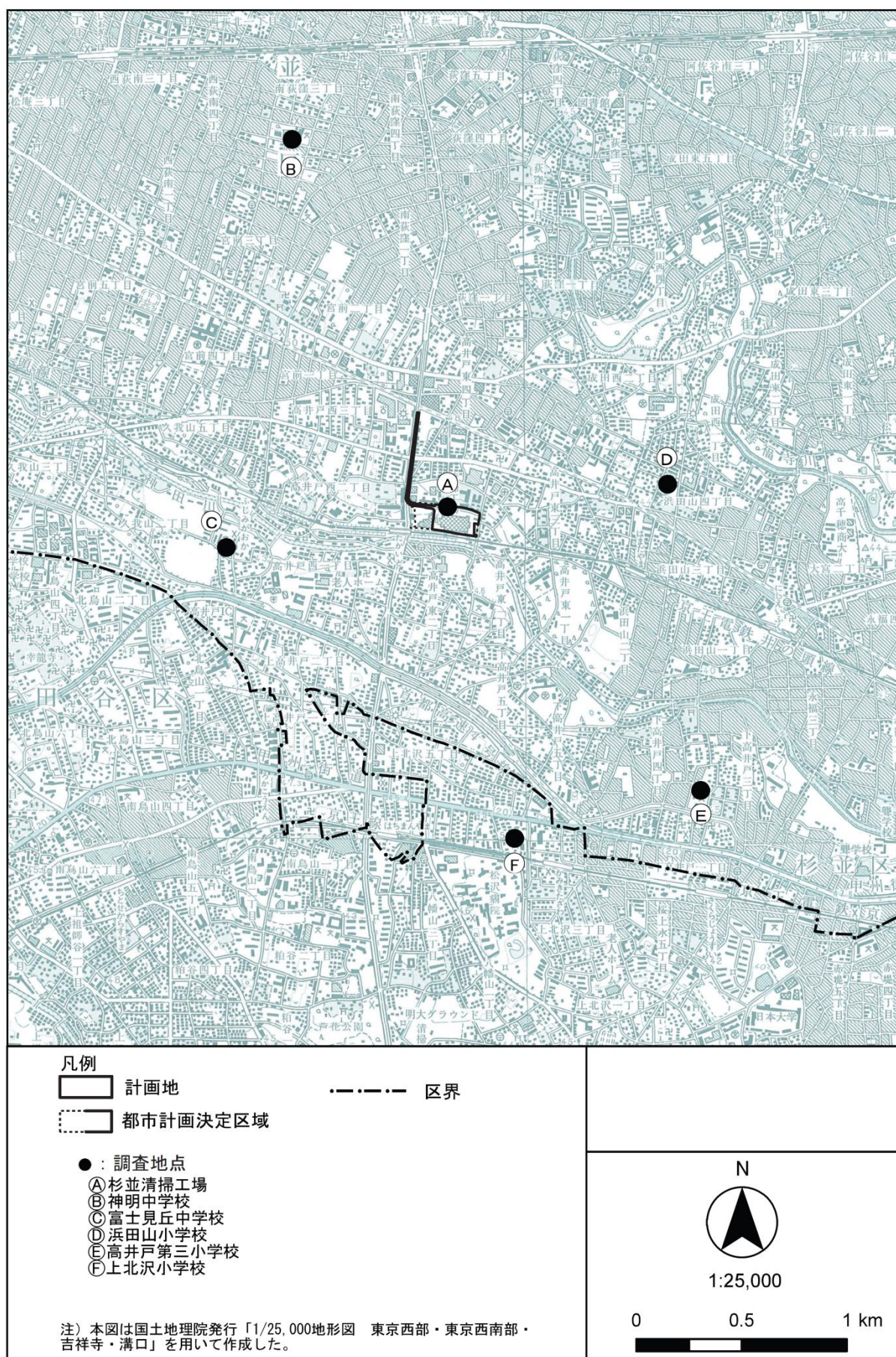


図 7.1-1 施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況の調査地点

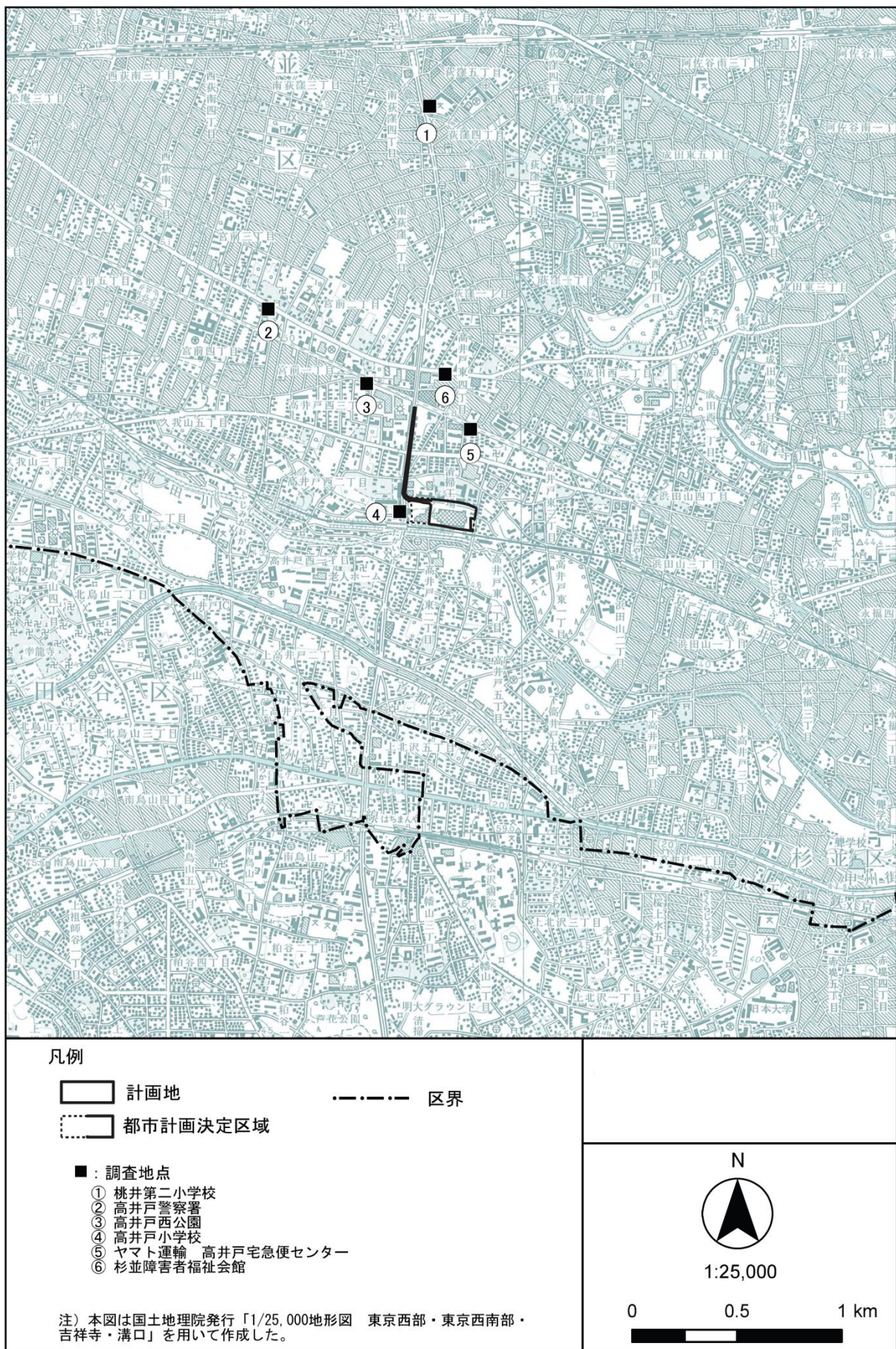


図 7.1-2 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況の調査地点